

授業計画表

医薬品アドバイザー学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 医薬品概論		教員名 滝沢 淳子	
科目時間数： 15時間 (7.5限)		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年： 1年	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 医薬品の本質、効き目や安全性に影響を与える要因等について理解する。 【ディプロマポリシーとの関連】 ①. セルフメディケーションを理解し、適切に支援できる人材の育成を目指す 2. 現場実習での経験を基に、即戦力となる人材を育成する 3. コミュニケーションを取り親身に考えることができる学生を育成する 【授業全体の内容の概要】 医薬品の特性やリスク、薬害の歴史等を学びつつ、健康への関心や倫理観等を養う。また、テキストで学んでいる知識と本試験との繋がりを把握し、試験に対する意識を高める。 【授業における達成課題】 医薬品の基本的な知識を理解し、将来医薬品販売業に従事する土台作りをする。 登録販売者試験において、8割以上得点できる。			
	使用教材	出版社	
学生用	登録販売者 テキスト1 医薬品に共通する特性と 基本的な知識	U - C A N	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 筆記試験は60点以上を合格とする。 評価について：筆記試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内容】			

科目名 医薬品概論		科目時間総数 15時間（7.5限）限	教員名 滝沢 淳子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限 1時間 2時間	医薬品の概論	医薬品の本質、医薬品のリスク評価、健康食品 確認問題を行い理解する 〃	
2限 3時間 4時間	医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因	副作用、不適正な使用と有害事象 他の医薬品や食品との相互作用、飲みあわせ 〃	
3限 5時間 6時間		小児、高齢者等への配慮、プラセボ効果 医薬品の品質、確認問題を行い理解する 〃	
4限 7時間 8時間	適切な医薬品選択と受診勧奨	一般用医薬品で対処可能な症状等の範囲 〃	
5限 9時間 10時間		販売時のコミュニケーション 確認問題を行い理解する。 〃	
6限 11時間 12時間	薬害の歴史	医薬品による副作用等に対する基本的考え方 医薬品による副作用等にかかる主な訴訟 薬害の歴史（表） 確認問題を行い理解する。	
7限 13時間 14時間	まとめ	まとめ 試験対策 〃	
8限 15時間	期末試験	試験実施	

授業計画表

医薬品アドバイザー学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 人体学		教員名 滝沢 淳子	
科目時間数： 30時間〔15限〕		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別：	必修・選択	配当学年： 1年	開講時期： 前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 人体の働きと医薬品との関係を理解し、登録販売者として役立つ知識を身につけるための学習とする。 【医薬品アドバイザー学科ディプロマポリシーとの関連】 1. セルフメディケーションを理解し、適切に支援できる人材の育成を目指す 2. 現場実習での経験を基に、即戦力となる人材を育成する 3. コミュニケーションを取り親身に考えることができる学生を育成する 【授業全体の内容の概要】 人体の構造（内臓器官・感覚器官・運動器官・脳や神経系）の働きと薬が働く仕組みを学ぶ。薬について症状からみた主な副作用や作用を学ぶ。 また、登録販売者として働くうえで必要となる人体の区分や、骨格・筋の名称、必要な検査等を理解し説明ができる。 【授業における達成課題】 身体の構造と働き、薬の働く仕組み、副作用の症状等に関する基本的な知識を習得し、課題を正確に解くことができる。			
	使用教材	出版社	
学生	登録販売者 テキスト1 人体の働きと医薬品	U－CAN	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ） 【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ ） 【備考】 筆記試験は60点以上を合格とする。 評価について：筆記試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。 【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無 【内容】			

科目名 人体学		科目時間総数 30時間〔15限〕限	教員名 滝沢 淳子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限 1時間 2時間	人体の構造と働き	人間のからだの全体像を知り、職業に従事できるよう理解する 細胞・器官・組織・器官系について理解する 人体の区分（図）確認、消化器系の仕組み（口腔～咽頭）	
2限 3時間 4時間		消化器系の仕組みを理解する（食道～小腸）（膵臓～肝臓） 消化器系の仕組みを理解する（肝臓～肛門）	
3限 5時間 6時間		呼吸器系の仕組みを理解する（鼻腔～気管支）（肺） 理解できているか小テストを行い確認する	
4限 7時間 8時間		循環器系の仕組みを理解する （心臓～血管系）（血液）（脾臓～リンパ系） 〃	
5限 9時間 10時間		泌尿器系の仕組みを理解する（腎臓～尿路） 理解できているか小テストを行い確認する	
6限 11時間 12時間		感覚器官の仕組みを理解する（目～鼻） 〃	
7限 13時間 14時間		皮膚の仕組み、皮膚疾患について理解する 理解できているか小テストを行い確認する	
8限 15時間 16時間		運動器官の仕組みについて理解する（骨格系～筋組織） 〃	
9限 17時間 18時間		脳・神経系の仕組みについて理解する 理解できているか小テストを行い確認する	
10限 19時間 20時間	薬が働く仕組み	薬の生体内運命（吸収）について理解する 薬の代謝、排泄について、薬の体内での働きについて理解する 〃	
11限 21時間 22時間		剤型ごとの違い、適切な使用方法（錠剤）（口腔用錠剤）（外用剤） （散剤・顆粒剤）（経口液剤・シロップ剤）（カプセル剤） 理解できているか小テストを行い確認する	
12限 23時間 24時間	症状からみた主な副作用	全身的に現れる副作用について理解する 精神神経系に現れる副作用について理解する	
13限 25時間 26時間		体の局所に現れる副作用について理解する 理解できているか小テストを行い確認する	
14限 27時間 28時間	まとめ	問題集をスムーズに回答することができる	
15限 29時間 30時間	期末試験	試験実施 〃	

授業計画表

医薬品アドバイザー

学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名		薬理学		教員名		佐々木 純子	
科目時間数：60時間				30限			
授業の種類：講義・演習・実習				必修・選択			
配当学年：1年次				開講時期：前期・後期・集中			
【授業の目的・ねらい】 医薬品の成分と効能を理解することで、お客様の症状に合った適切な医薬品を選択し、副作用や使用上の注意などの的確に伝えることができる。							
【医薬品アドバイザー学科ディプロマポリシーとの関連】 ① セルフメディケーションを理解し、適切に支援できる人材の育成を目指す ② 現場実習での経験を基に、即戦力となる人材を育成する ③ コミュニケーションを取り親身に考えることができる学生を育成する							
【授業全体の内容の概要】 主な医薬品とその作用について学び理解する。 相互作用、留意事項、受診勧奨について理解を深める。							
【授業における達成課題】 各章ごとのcheck testにおいて「正答率6割以上」を達成することができる。 確認テスト、実力UPテストにおいて「正答率6割以上」を達成することができる。							
学生・教員 共通		使用教材			出版社		
		登録販売者合格指導講座 テキスト2・3			U-CAN		
【使用教室】 ① HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()							
【評価方法】 ① 筆記試験 2. レポート ③ 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()							
【備考】 評価について：筆記試験の点数及び出席率を勘案して、A（80点以上）、B（79～70点） C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。							
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ ⑤ 無							
【内 容】							

科目名		薬理学	科目時間総数 90時間（45限）	教員名 佐々木 純子
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	1時間 2時間 限	オリエンテーション	学びの目的、学習の流れ・進め方の確認 主な医薬品とその作用とは	
2	3時間 4時間 限	かぜ薬Ⅰ	かぜの諸症状、かぜ薬について理解する。かぜとよく似た症状の疾患、かぜ薬の諸症状に有効とされる配合成分とその作用の理解を深める。	
3	5時間 6時間 限	解熱鎮痛薬Ⅰ	痛みや発熱が起こる仕組みについて理解する。解熱鎮痛薬の働きや配合成分、副作用について学ぶ。	
4	7時間 8時間 限	眠気を促す薬	眠気を促す薬の働きについて理解する。眠気を促す薬の配合成分や主な副作用について学ぶ。眠気を促す薬の相互作用・受診勧奨などについて整理する。	
5	9時間 10時間 限	鎮量薬	鎮量薬にはどのような作用と働きがあるのかを理解する。鎮量薬の代表的な成分と主な副作用、相互作用、受診勧奨等について学ぶ。	
6	11時間 12時間 限	小児の疳を適応症とする生薬製剤	代表的な配合生薬等や主な副作用について理解する。小児鎮静薬の相互作用、受診勧奨について学ぶ。	
7	13時間 14時間 限	咳止め・痰を出しやすくする薬Ⅰ	咳や痰が生じる仕組みについて理解する。呼吸器官に作用する咳止め薬・鎮咳去痰薬の働き、配合成分等を詳しく学ぶ。	
8	15時間 16時間 限	口腔咽喉薬、うがい薬	口腔咽喉薬・含嗽薬の作用と配合成分、主な副作用について学ぶ。口腔咽喉薬・含嗽薬に関する一般的な注意事項について整理する。	
9	17時間 18時間 限	胃の薬	胃の薬（制酸薬、健胃薬、消化薬）の作用と配合成分、主な副作用について理解する。配合成分の種類、作用、副作用（留意事項等）を整理する。	
10	19時間 20時間 限	腸の薬Ⅰ	瀉下成分の種類や作用目的、留意事項を理解する。相互作用・受診勧奨について理解を深める。	
11	21時間 22時間 限	強心薬	動悸・息切れなどが生じる原因、強心薬の配合成分や作用、副作用を理解する。強心剤を服用する場合の相互作用と受診勧奨について学ぶ。	
12	23時間 24時間 限	高コレステロール改善薬	コレステロールの働きについて学ぶ。高コレステロール改善薬の成分について理解する。生活習慣病改善へのアドバイス、受診勧奨など整理する。	
13	25時間 26時間 限	貧血用薬、その他の循環器用薬	貧血用薬（鉄製剤）の作用と代表的な配合成分等について学ぶ。その他の循環器用薬の作用と副作用を理解する。	
14	27時間 28時間 限	内用痔疾用薬、その他の泌尿器用薬	内用痔疾用薬の配合成分について学ぶ。痔疾用薬（外用・内用薬）の相互作用、受診勧奨、その他の循環器用薬の配合成分等について学ぶ。	
15	29時間 30時間 限	確認テスト	出題範囲：かぜ薬Ⅰ～内用痔室用薬、その他の泌尿器用薬	
16	31時間 32時間 限	実力UPテスト	出題範囲：かぜ薬Ⅰ～内用痔室用薬、その他の泌尿器用薬	
17	33時間 34時間 限	婦人薬	婦人薬の効能・効果と対象となる症状、婦人薬の相互作用・受診勧奨について学ぶ。	
18	35時間 36時間 限	内服アレルギー用薬	アレルギーの症状、内服アレルギー用薬が症状を抑える仕組みを学ぶ。内服アレルギー用薬の代表的な配合成分等や主な副作用について理解する。	
19	37時間 38時間 限	鼻炎用点鼻薬	鼻に用いる薬の代表的な配合成分、主な副作用について理解する。各種成分の作用と副作用について学ぶ。	
20	39時間 40時間 限	皮膚に用いる薬Ⅰ	外皮用薬の用途や特徴、傷口等の殺菌消毒成分の種類とそれぞれの作用・副作用について学ぶ。外皮用薬の剤形による取り扱い上の注意について理解する。	
21	41時間 42時間 限	歯や口中に用いる薬	歯や口中に用いる薬のうち、歯痛薬の代表的な成分、口内炎用薬の全般について学ぶ。歯槽膿漏薬の代表的な配合成分や作用・副作用について理解する。	
22	43時間 44時間 限	公衆衛生用薬Ⅰ	公衆衛生用薬のうち消毒薬について学ぶ。感染症の原因と予防、殺菌・消毒の意義について理解する。	
23	45時間 46時間 限	一般用検査薬	一般用検査薬における検出感度、偽陰性、偽陽性等について学ぶ。検査結果に影響を与える要因、検査結果の判断等について理解する。	
24	47時間 48時間 限	確認テスト	出題範囲：婦人薬～一般用検査薬	
25	49時間 50時間 限	実力UPテスト	出題範囲：婦人薬～一般用検査薬	
26	51時間 52時間 限	過去問題チャレンジ1	令和5年度登録販売者試験 - 岩手県、解答・解説	
27	53時間 54時間 限	過去問題チャレンジ2	令和4年度登録販売者試験 - 岩手県、解答・解説	
28	55時間 56時間 限	過去問題チャレンジ3	令和3年度登録販売者試験 - 岩手県、解答・解説	
29	57時間 58時間 限	過去問題チャレンジ4	令和2年度登録販売者試験 - 岩手県、解答・解説	
30	59時間 60時間 限	過去問題まとめ 定期試験	頻出問題の確認、傾向と対策 定期試験実施	

授業計画表

医薬品アドバイザー

学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 薬事関係法規	教員名 山田 健太郎								
科目時間数： 30時間 (15限)	授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習								
必修・選択の別： 必修・選択	配当学年： 1年次								
開講時期： 前期・後期・集中									
【授業の目的・ねらい】 登録販売者試験に合格する能力を、身につける為の学習とする。 【医薬品アドバイザー学科ディプロマポリシーとの関連】 ① セルフメディケーションを理解し、適切に支援できる人材の育成を目指す。 ② 現場実習での経験を基に、即戦力となる人材を育成する。 ③ コミュニケーションを取り、親身に考えることができる学生を育成する。									
【授業全体の内容の概要】 実際の業務がどのような法令・制度の元に行われているか照らし合わせ、理解を深める。									
【授業における達成課題】 出題する法規・制度の根拠となる法令等を正確に理解する。									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">使用教材</th> <th style="width: 70%;">出版社</th> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> 学生用 登録販売者合格指導講座 テキスト4 </td> <td style="padding: 5px;"> ユーキャン </td> </tr> </table>	使用教材	出版社	学生用 登録販売者合格指導講座 テキスト4	ユーキャン				
使用教材	出版社								
学生用 登録販売者合格指導講座 テキスト4	ユーキャン								
【使用教室】 <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 25%;">1. HR</td> <td style="width: 25%;">2. 介護実習室</td> <td style="width: 25%;">3. 家政実習室</td> <td style="width: 25%;">4. 視聴覚室</td> </tr> <tr> <td>5. PC実習室</td> <td>6. 接遇実習室</td> <td colspan="2">7. その他 ()</td> </tr> </table>		1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室	5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室						
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()							
【評価方法】 <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 25%;">1. 筆記試験</td> <td style="width: 25%;">2. レポート</td> <td style="width: 25%;">3. 出席</td> <td style="width: 25%;">4. 授業態度</td> </tr> <tr> <td>5. 実技試験</td> <td colspan="3">6. その他 (小テスト)</td> </tr> </table>		1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度	5. 実技試験	6. その他 (小テスト)		
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度						
5. 実技試験	6. その他 (小テスト)								
【備考】 筆記試験は60点以上を合格とする。 評価について：筆記試験の点数及び出席率を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。									
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無									
【内容】									

科目名		科目時間総数	教員名
薬事関係法規		30時間（15限）	山田 健太郎
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限 1時間 2時間	医薬品販売に関する法律 〃	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保に関する法律を学ぶ	
2限 3時間 4時間	登録販売者とは 〃	販売従事登録に必要な条件について学ぶ	
3限 5時間 6時間	医薬品の分類・取扱い等 〃	医薬品の定義と範囲を学ぶ	
4限 7時間 8時間	〃 〃	容器・外箱等、添付文書等への記載事項について学ぶ	
5限 9時間 10時間	〃 〃	医薬部外品について学ぶ	
6限 11時間 12時間	〃 〃	化粧品について学ぶ	
7限 13時間 14時間	〃 〃	保健機能食品について学ぶ	
8限 15時間	〃	復習	
16時間	医薬品の販売許可	許可の種類を学ぶ	
9限 17時間 18時間	〃 〃	薬局の許可行為の範囲を学ぶ	
10限 19時間 20時間	〃 〃	店舗販売業の許可行為の範囲を学ぶ	
11限 21時間 22時間	〃 〃	配置販売業の許可行為の範囲を学ぶ	
12限 23時間 24時間	〃 〃	リスク区分に応じた販売従事者、情報提供及び陳列等を学ぶ	
13限 25時間 26時間	医薬品販売に関する法令厳守 〃	適正な販売広告を学ぶ	
14限 27時間 28時間	〃 〃	行政庁の監視指導、苦情相談窓口を学ぶ	
15限 29時間 30時間	理解度確認 〃	試験実施および振り返り	

授業計画表

医薬品アドバイザー

学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 医薬品の適正使用・安全対策		教員名 佐々木 純子	
科目時間数： 30時間 15限		授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択 の別：	必修・選択	配当学年： 1年次	開講時期： 前期 後期・集中
【授業の目的・ねらい】 添付文書や製品表示に記載されている内容を学び、医薬品の適正使用情報の必要性について理解することができる。			
【医薬品アドバイザー学科ディプロマポリシーとの関連】 ① セルフメディケーションを理解し、適切に支援できる人材の育成を目指す 2. 現場実習での経験を基に、即戦力となる人材を育成する 3. コミュニケーションを取り親身に考えることができる学生を育成する			
【授業全体の内容の概要】 添付文書の読み方、製品表示の読み方、購入者等に対する情報提供について学ぶ。 副作用等による健康被害の救済、安全対策・啓発活動について理解を深める。			
【授業における達成課題】 各章ごとのcheck testにおいて「正答率6割以上」を達成することができる。 確認テスト、実力UPテストにおいて「正答率6割以上」を達成することができる。			
		使用教材	出版社
学生・教員 共通		登録販売者合格指導講座 テキスト4	U-CAN
【使用教室】 ① HR 5. PC実習室 2. 介護実習室 6. 接遇実習室 3. 家政実習室 7. その他 () 4. 視聴覚室			
【評価方法】 ① 筆記試験 5. 実技試験 2. レポート 6. その他 () ③ 出席 4. 授業態度			
【備考】 評価について：筆記試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点） C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有・無			
【内 容】			

科目名		医薬品の適正使用・安全対策	科目時間総数	30時間（15限）	教員名	佐々木 純子
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標			
1	1時間 2時間 限	オリエンテーション 〃	学びの目的・進め方の確認 医薬品の適正使用とは			
2	3時間 4時間 限	医薬品の適正使用情報Ⅰ 〃	医薬品の適正使用情報、添付文書の読み方①			
3	5時間 6時間 限	医薬品の適正使用情報Ⅱ 〃	添付文書の読み方②			
4	7時間 8時間 限	製品表示の読み方 〃	安全性情報等			
5	9時間 10時間 限	医薬品の安全対策 〃	副作用情報の収集・評価等			
6	11時間 12時間 限	副作用等による健康被害の救済 〃	救済基金法・制度			
7	13時間 14時間 限	安全対策・啓発活動 〃	一般用医薬品の安全使用等			
8	15時間 16時間 限	医薬品の適正使用情報Ⅰ－①②③	医薬品の適正使用情報、添付文書の記載項目、添付文書の読み方			
9	17時間 18時間 限	医薬品の適正使用情報Ⅰ－④⑤⑥	添付文書の読み方			
10	19時間 20時間 限	医薬品の適正使用情報Ⅱ－①②③	添付文書の読み方			
11	21時間 22時間 限	製品表示の読み方①②	製品への情報表示、情報表示の形態等、安全性情報等①②、購入者等に対する情報提供への活用			
12	23時間 24時間 限	医薬品の安全対策①②	副作用情報等の収集・制度、副作用情報等の収集・報告の仕方			
13	25時間 26時間 限	副作用等による健康被害の救済①②③	医薬品副作用被害救済制度等、その他の制度等、医薬品副作用被害救済制度等への案内等			
14	27時間 28時間 限	安全対策・啓発活動①② 確認テスト	一般用医薬品に関する主な安全対策、医薬品適正使用のための啓発活動 出題範囲：医薬品の適正使用情報Ⅰ～安全対策・啓発活動①②、解答・解説			
15	29時間 30時間 限	実力UPテスト 定期試験	出題範囲：医薬品の適正使用情報Ⅰ～安全対策・啓発活動①②、解答・解説 定期試験実施			

授業計画表

医薬品アドバイザー

学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名		漢方・中医学		教員名		佐々木 純子	
科目時間数：		30時間		15限		授業の種類：	
必修・選択：		必修		1年次		講義・演習・実習	
必の別：		必修		配当学年：		開講時期：	
		選択		1年次		前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 医薬品の販売等に従事する専門家として、適切な医薬品の選択と積極的な情報提供を行うことに努めることができる。 【医薬品アドバイザー学科ディプロマポリシーとの関連】 ① セルフメディケーションを理解し、適切に支援できる人材の育成を目指す ② 現場実習での経験を基に、即戦力となる人材を育成する ③ コミュニケーションを取り親身に考えることができる学生を育成する 【授業全体の内容の概要】 漢方処方製剤・生薬製剤それぞれの特徴について学び、代表的な種類・概要について理解する。相互作用・受診勧奨について理解を深める。 【授業における達成課題】 各章ごとのcheck testにおいて「正答率6割以上」を達成することができる。 確認テスト、実力UPテストにおいて「正答率6割以上」を達成することができる。							
		使用教材		出版社			
学生・教員 共通		登録販売者合格指導講座 テキスト2・3		U-CAN			
【使用教室】 ① HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 () 【評価方法】 ① 筆記試験 2. レポート ③ 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 () 【備考】 評価について：A (80点以上)、B (79～70点) C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。 【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ ⑤ 無 【内 容】							

科目名		漢方・中医学	科目時間総数 30時間（15限）	教員名 佐々木 純子
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	限	1時間 2時間 オリエンテーション 漢方処方製剤・生薬製剤	学びの目的、学習の流れ・進め方の確認 漢方・生薬の考え方、漢方医学と漢方薬、生薬製剤の特徴について学ぶ。	
2	限	3時間 4時間 かぜ薬Ⅱ	かぜ薬の一成分として配合されるもの、単独でかぜ症状緩和に用いられるものについて学ぶ。	
3	限	5時間 6時間 解熱鎮痛薬Ⅲ	鎮痛の目的で用いられる漢方処方製剤について学ぶ。生薬成分・漢方処方製剤の種類と概要を理解する。	
4	限	7時間 8時間 眠気を促す薬	神経質、精神不安、不眠等の症状の改善を目的とした漢方処方製剤について学ぶ。生薬成分・漢方処方製剤の種類と概要を理解する。	
5	限	9時間 10時間 小児の疳を適応症とする生薬製剤・漢方処方製剤	小児の疳を適応症とする主な漢方処方製剤について学ぶ。生薬成分の種類と概要を理解する。	
6	限	11時間 12時間 咳止め・痰を出しやすくする薬Ⅱ	甘草湯の他、咳止めや痰を出しやすくする目的で用いられる漢方処方製剤について学ぶ。生薬成分・漢方処方製剤の種類と概要を理解する。	
7	限	13時間 14時間 口腔咽喉薬、うがい薬（含嗽薬）	主として喉の痛み等を鎮めることを目的とし、咳や痰に対する効果を標榜しない漢方処方製剤について学ぶ。生薬成分・漢方処方製剤の種類と概要を理解する。	
8	限	15時間 16時間 胃の薬、腸の薬Ⅱ	胃の不調、腸の不調を改善する目的で用いられる漢方処方製剤について学ぶ。生薬成分・漢方処方製剤の種類と概要を理解する。	
9	限	17時間 18時間 その他の循環器用薬、その他の泌尿器用薬	その他の循環器用薬、その他の泌尿器用薬に配合される漢方処方製剤の適応と留意事項について学ぶ。生薬成分の概要、生薬成分以外の成分の作用・副作用等を理解する。	
10	限	19時間 20時間 婦人薬	月経と女性に現れる特有な諸症状に対する漢方処方製剤について学ぶ。生薬成分、漢方処方製剤の種類と概要を理解する。	
11	限	21時間 22時間 内服アレルギー用薬	皮膚、鼻それぞれの症状を主とする人に適すとされる漢方処方製剤について学ぶ。生薬成分、漢方処方製剤の種類と概要を理解する。	
12	限	23時間 24時間 皮膚に用いる薬Ⅱ	抗炎症、血行促進等の作用を期待して配合される生薬成分について学ぶ。生薬成分・漢方処方製剤の種類と概要を理解する。	
13	限	25時間 26時間 滋養強壮保健薬	滋養強壮に用いられる主な漢方処方製剤について学ぶ。生薬成分・漢方処方製剤の種類と概要を理解する。	
14	限	27時間 28時間 確認テスト 実力UPテスト	出題範囲：漢方処方製剤・生薬製剤～滋養強壮 〃	
15	限	29時間 30時間 確認・実力UPテストの復習 定期試験	確認・実力UPテスト解答・解説、過去問題頻出問題の解説 定期試験実施	

授業計画表

医薬品アドバイザー 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 実習研究演習		教員名 竹花美奈子	
科目時間数： 15時間		7、5限	
授業の種類： 講義・ <u>演習</u> ・実習			
必修・選択 の別： <u>必修</u> ・選択	配当学年： 1年次	開講時期： 前期・ <u>後期</u> ・集中	
【授業の目的・ねらい】 行事や演習授業を学び協力しあうことや協調性を身につける 【医薬品アドバイザー学科ディプロマポリシーとの関連】 1. セルフメディケーションを理解し、適切に支援できる人材の育成を目指す 2. 現場実習での経験を基に、即戦力となる人材を育成する <u>3. コミュニケーションを取り親身に考えることができる学生を育成する</u> 【授業全体の内容の概要】 準備期間含めての意欲的な取り組み 【授業における達成課題】 課題に対して出来る範囲のことを、自ら気づき行動できる			
	使用教材	出版社	
教員用	登録販売者お仕事マニュアル	ユーキャン	
【使用教室】 1. <u>HR</u> 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート <u>3. 出席</u> 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ ）			
【備考】出席率8割以上とする 評価について：出席率により、A（80点以上）、B（79～70点） C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ <u>無</u>			
【内 容】			

科目名		実習研究演習	科目時間総数	15時間（7、5限）	教員名	竹花美奈子
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標			
1	1時間 2時間 限	オリエンテーション 〃	1年次予定の確認 行事について検討し、取り組むことができる			
2	3時間 4時間 限	行事实施 〃	計画した内容を遂行し、クラス内の親睦を図ることができる			
3	5時間 6時間 限	医薬品販売の基本 〃	対面販売と特定販売の違いを考える 接客の基本姿勢を身につけよう			
4	7時間 8時間 限	プラスワン基礎知識 〃	健康食品の基礎知識を学ぶ 薬膳花茶を作る			
5	9時間 10時間 限	〃 〃	オーラルケアの基礎知識を学ぶ 歯ブラシの選び方と違い			
6	11時間 12時間 限	〃 〃	紫外線ケアの基礎知識を学ぶ パックの違いや使用について			
7	13時間 14時間 限	〃 〃	生活習慣病の基礎知識を学ぶ 日常生活でできることを考える			
8	15時間 16時間 限	〃 〃	お客様の訴えに応じた医薬品の提案の仕方を学ぶ			

授業計画表

医薬品アドバイザー 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 受験対策		教員名 佐々木純子・滝沢淳子 山田健太郎・竹花美奈子	
科目時間数： 30時間 15限		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年： 1年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 登録販売者試験に合格する能力を身につける 【医薬品アドバイザー学科ディプロマポリシーとの関連】 1. セルフメディケーションを理解し、適切に支援できる人材の育成を目指す 2. 現場実習での経験を基に、即戦力となる人材を育成する 3. コミュニケーションを取り親身に考えることができる学生を育成する 【授業全体の内容の概要】 過去の登録販売者試験問題を実施し、知識習得と確認を行う 【授業における達成課題】 全科目が4割以上、科目の合計7割以上の点数を取り登録販売者試験合格を目指す			
	使用教材	出版社	
	プリント		
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ ）			
【備考】筆記試験は60点以上を合格とする 評価について：筆記試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点） C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内 容】			

科目名		受験対策	科目時間総数 30時間（15限）	教員名 々木純子・滝沢淳子・山田健太郎・竹花美奈
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	1時間 2時間 限	オリエンテーション 過去問題	授業の進め方を理解する 過去問題 1 に取り組む	
2	3時間 4時間 限	過去問題 〃	〃 〃	
3	5時間 6時間 限	〃 〃	答え合わせを行い、不正解だった問題を理解する 〃	
4	7時間 8時間 限	〃 〃	再テストを行い、前回に不正解だった問題を解くことができる 〃	
5	9時間 10時間 限	〃 〃	過去問題 2 に取り組む 〃	
6	11時間 12時間 限	〃 〃	〃 〃	
7	13時間 14時間 限	〃 〃	答え合わせを行い、不正解だった問題を理解する 〃	
8	15時間 16時間 限	〃 〃	再テストを行い、前回に不正解だった問題を解くことができる 〃	
9	17時間 18時間 限	〃 〃	過去問題 3 に取り組む 〃	
10	19時間 20時間 限	〃 〃	〃 〃	
11	21時間 22時間 限	〃 〃	答え合わせを行い、不正解だった問題を理解する 〃	
12	23時間 24時間 限	〃 〃	再テストを行い、前回に不正解だった問題を解くことができる 〃	
13	25時間 26時間 限	〃 〃	過去問題 4 に取り組む 〃	
14	27時間 28時間 限	〃 〃	〃 〃	
15	29時間 30時間 限	〃 〃	答え合わせを行い、不正解だった問題を理解する 〃	

授業計画表

医薬品アドバイザー 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 実習事前事後指導		教員名 竹花美奈子	
科目時間数： 5 時間		2.5限 授業の種類： 講義・演習・実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年： 1 年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 目標を持ち実習に意欲的に臨めるようにする 【医薬品アドバイザー学科ディプロマポリシーとの関連】 1. セルフメディケーションを理解し、適切に支援できる人材の育成を目指す 2. 現場実習での経験を基に、即戦力となる人材を育成する 3. コミュニケーションを取り親身に考えることができる学生を育成する 【授業全体の内容の概要】 実習目標を明確にする 自己紹介書作成 実習報告書作成 【授業における達成課題】 授業を通して身につけた知識やマナーの実践 実習報告書を作成することで、各自の課題や反省点を再確認し今後の成長に繋げていく			
	使用教材	出版社	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ ）			
【備考】出席率8割以上とする 評価について：出席率により、A（80点以上）、B（79～70点） C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内 容】			

科目名		実習事前事後指導	科目時間総数	5 時間（2、5限）	教員名	竹花美奈子
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標			
1	1時間 2時間 限	動機づけ 志望動機・自己PR・目標設定	実習に臨む姿勢等を理解する 実習目標を決め、学びたいことを明確にする・動機とPRの作成と添削			
2	3時間 4時間 限	履歴書作成 事前学習	実習咲樹に送付する履歴書の作成と添削 事前訪問指導（服装・身だしなみチェック等）・実習上の諸注意			
3	5時間 6時間 限	実習日誌作成 実習前最終確認	実習日誌作成と書き方 実習前最終確認			

授業計画表

医薬品アドバイザー 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 現場実習		教員名 高田 智美 竹花美奈子	
科目時間数： 600時間 300限		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年： 1年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 (1) 基礎的な知識・技術に応用力・実践力を身に付ける (2) 「お客様」について理解し、接遇の心得・実践を学ぶ (3) 社会人としてのマナー・エチケットを身に付ける (4) 職場内での人間関係の大切さを学ぶ 【医薬品アドバイザー学科ディプロマポリシーとの関連】 1. セルフメディケーションを理解し、適切に支援できる人材の育成を目指す 2. 現場実習での経験を基に、即戦力となる人材を育成する 3. コミュニケーションを取り親身に考えることができる学生を育成する 【授業全体の内容の概要】 現場業務に関する理解を深め意識の向上を図るために、授業の一環として行う 【授業における達成課題】 現場機関での日常業務の流れを理解し、出来る範囲のことを自ら気づき、行動できるよう学ぶ			
	使用教材	出版社	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 (各実習機関)			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 (各実習機関からの評価)			
【備考】 評価について：各実習機関からいただく、A (80点以上)、B (79～70点) C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内容】 各実習機関の現場の指導者が担当になる			

科目名			科目時間総数	教員名
現場実習			600時間（300限）	高田 智美・竹花美奈子
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	1時間 2時間 限	現場実習 〃	【ドラッグストア】 （１）業務の補助 環境整備 各種伝票の取り扱い 会計業務 OTC商品等の陳列 POP作成 （２）その他（実習先の指示に従う）	
～	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
	限	〃 〃		
～	限	〃 〃		
300	599時間 600時間 限	〃 〃		

授業計画表

医薬品アドバイザー

学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 P C 基礎		教員名 山田 健太郎	
科目時間数： 1 5 限 (30 時間)		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年： 1 年	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 Word・Excelの基本的な操作を習得し、練習問題を解くことによって理解度を確認し、確実に操作能力を身につける。 (当該科目が最も関連するDPに○) 【ディプロマポリシーとの関連】 1. セルフメディケーションを理解し、適切に支援できる人材の育成を目指す。 2. 現場実習での経験を基に、即戦力となる人材を育成する。 3. コミュニケーションを取り、親身に考えることができる学生を育成する。			
【授業全体の内容の概要】 ・テキストを使用し、Word・Excelの知識を深め、実務にいかせるようにする 【授業における達成課題】 ・Word・Excelの違い、特質などを理解する。 ・Word・Excelでの文章や表作り、計算方法など、情報処理の仕方を理解する。			
	使用教材	出版社	
	word2021 クイックマスター〈基本編〉 Excel2021 クイックマスター〈基本編〉	株式会社ウィネット	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 評価について：出席率及び授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無 【内容】			

科目名			科目時間総数	教員名
PC基礎			15限	山田健太郎
限数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限	1時間2時間	イントロダクション	授業の目的、概要を理解する。	
2限	3時間4時間	Wordの概要	Wordで何が出来るかを理解する。Excelとの違いについて理解をする	
3限	5時間6時間	Wordの使い方	Wordの使い方、表示モードの理解、文章表示の変更、保存方法	
4限	7時間8時間	Wordで文章を作成	新規作成とページ設定、日時の挿入、挨拶文の挿入、文章体制	
5限	9時間10時間	Wordグラフィック機能	ワードアート、オンライン画像、オリジナル画像の挿入、文字の効果設定	
6限	11時間12時間	Wordで文章を作成	新規作成とページ設定、日時の挿入、挨拶文の挿入、文章体制	
7限	13時間14時間	表のある文章を作成	表の作成、レイアウト、表の書式設定	
8限	15時間16時間	Excelの概要	Excelで何が出来るかを理解する。Wordとの違いについて理解をする	
9限	17時間18時間	Excelの使い方	Excelの使い方、表示モードの理解、データ入力方法、保存方法	
10限	19時間20時間	Excelで表を作成	新規作成、関数入力、表の書式設定、行や列の操作など	
11限	21時間22時間	〃	〃	
12限	23時間24時間	グラフ作成	グラフ機能の概要、円グラフ、縦棒グラフを作成する	
13限	25時間26時間	データ分析	データベースの概要、データの並び替えや抽出、条件付書式の設定	
14限	27時間28時間	理解度確認	Wordで指示書をもとに文章を作成する	
15限	29時間30時間	〃	Excelで指示書をもとに表・グラフ等を作成する	
16限	31時間32時間			
17限	33時間34時間			
18限	35時間36時間			
19限	37時間38時間			
20限	39時間40時間			
21限	41時間42時間			
22限	43時間44時間			
23限	45時間46時間			
24限	47時間48時間			
25限	49時間50時間			
26限	51時間52時間			
27限	53時間54時間			
28限	55時間56時間			
29限	57時間58時間			
30限	59時間60時間			